



TITLE:

質疑欄

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑欄. 天界 1941, 21(239): 155-155

ISSUE DATE:

1941-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168166>

RIGHT:

質 疑 欄

問ひ： 小學校として、屈折鏡と反射鏡と、何れが適當でせうか？ (M生)

答へ： 只、學校教師諸氏の中に反射鏡の使用法を一通り知つてゐる人があれば、反射鏡の方が廉價で、大型のものが獲られるから宜しいが、さうでなければ、屈折鏡の方が、誰にでも取り扱い易いから、便利でせう。勿論、屈折鏡の方が、3倍も5倍も高價です。(H)

問ひ： 250~300圓位で反射鏡ならば如何ほどの能率のものが購入出来ますか？ (M生)

答へ： 經緯臺のものなら口径15センチ級のものが得られませう。倍率は30倍から150倍まで。但し、ファインダや、接眼レンズのためには、別に50圓位入要です。銀鍍は毎年2~3回ぐらゐ、馴れば何でもありませんが、之れがうるさければ、初めに少し金(40圓ぐらゐ)をかけてアルミ鍍をすれば、5年ぐらゐは有効です。(H)

問ひ： 今、北に向つて地球上に立てば右手の方は東、左手の方は西であります。この事は北緯20度、60度、70度の點でも同一です。この時、北極星の高度は其の土地の緯度を示します。さて、この儘次第に北方へ位置を移して行きますと、北緯89度59分59秒……の點でも尙同一の事が云はれ、右は東、左は西、前は北で、後は南で、北極星は殆ど天頂に輝いて居ます。しかし、一步更に前進して、北極の地に立てば、この關係はどうなるのでしょうか？ 磁石は地下の方を指し、北極星は天頂に輝き、北はどの方向に選ぶべきでしょうか？ (Y D 生)

答へ： 此の場合には、足下の1點が北で、四方八方は皆南です。又、東や西は無くなります。(山)

公 告

東亞天文協會第20回定期總會

!!昭和16年五月吉日(曜)14時!!

會場は：

本會創立20周年記念大會

及び

岡林本田彗星ドノホ1賞牌表彰

- | | | |
|-----------------------|---------|-------------------|
| 1. 開 會 の 辭 | 理 事 長 | 宮 森 作 造 氏 |
| 2. “岡林本田彗星の天文學”(講話) | 會 長 | 理 學 博 士 山 本 一 清 氏 |
| 3. ドノホ1賞牌の表彰と披露 | 本會觀測部長 | 木 邊 成 麿 氏 |
| 4. “新彗星を如何にして發見したか？” | 發 見 者 | 岡 林 滋 樹 氏 |
| 同 上 | 同 上 | 本 田 實 氏 |
| 5. “20年來の新宇宙知識”(記念講演) | 理 學 博 士 | 山 本 一 清 氏 |
| 6. 本會總協議會 | | |

以 上

御注意： 詳細は次號に廣告します。全國の會員の振つて參會されんことを希望します。